

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりとうぶ） 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 あばしりなんぶ 網走 南部 森林管理署
完了後経過年数	4 年	管理主体	網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北東部に位置する、1 市 6 町に所在する約 13 万 6 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、東側に知床連山^{しれとこれんざん}を有し、羅臼岳^{らうすだけ}や硫黄山^{いおうざん}などが連なり、西側には網走川^{あばしり}や美幌川^{びほろ}をはじめとする多数の河川が流れ、丘陵地を下り、農地、都市部を潤しながらオホーツク海に注いでいる。サケ定置網漁や沖合底引き網漁などの沿岸部での水産業のほか、農業においてもじゃがいもなどの畑作と酪農を主体とする生産性の高い農業が展開されている。</p> <p>本計画における国有林の総面積の約 59%が水源涵養^{かん}を主な目的とした保安林に指定されており、流域内のみならず、陸域と海域との水を含む物質循環の拠点として、また基幹産業である農業や漁業の振興に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区内は、渓谷、湖沼、豊かな森林景観など豊富な観光資源にも恵まれ、知床国立公園など多くの自然公園にも指定されており、森と湖と海が調和した景観を有する地域として多くの観光客が道内外から訪れている。特に知床森林生態系保護地域（国有林の保護林）は、その全域が世界自然遺産に登録されているなど、原生的な天然林の保全、生物多様性の保全及び森林とのふれあいなど観光資源としての保全も期待されており、森林の公益的機能の維持増進を図るための適切な森林の管理経営が求められる地域である。</p> <p>森林の現況は、トドマツ（58%）を主な樹種とした人工林面積が約 3 万 4 千 ha、天然林面積が約 8 万 1 千 ha であり、森林の蓄積は北海道の全道平均 147 m³/ha に対して 240 m³/ha となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、約 78%が 7～12 齢級で、その中でも主伐期とされる 10 齢級以上の割合は約 63%を占めるなど森林資源の本格的な利用期を迎えているため、針広混交林や複層林へ計画的に誘導し木材を安定的に供給するほか、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図る等、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、国産材の安定供給体制の構築及び地球温暖化防止にも貢</p>		

	<p>献するため、森林整備を積極的に推進するとともに森林整備の効率的な実施に必要な路網整備を実施したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 森林整備 更新面積 239 ha 保育面積 5,540 ha 路網整備 開設延長 10.0 km ・総事業費 3,824,821 千円（税抜き 3,513,168 千円） （平成 27 年度の評価時点 2,928,026 千円（税抜き 2,711,135 千円））
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和 7 年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、事業量の変動や事業地の奥地化に伴い起伏量が大きくなるなど作業条件の厳しい箇所が多かったこと、費用便益分析に使用する単価の変更等によるものである。</p> <p>総便益（B）19,911,341 千円（平成 27 年度の評価時点：28,016,899 千円※） 総費用（C）7,336,836 千円（平成 27 年度の評価時点：3,756,619 千円※） 分析結果（B/C）2.71（平成 27 年度の評価時点：7.46）</p>
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・林道等の路網整備によって車両の通行可能範囲が広くなり、森林整備事業地までの所要時間や木材の搬出距離が短縮されることで木材生産の経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>人工林が利用期を迎え、伐採などの素材生産事業の事業量は増加しているが、令和 5 年度における北海道の林業就業者数はおよそ 4,180 人で、平成 29 年度は 4,253 人、令和元年度は 4,269 人、令和 3 年度は 4,208 人とおおむね横ばいで推移している。</p> <p>令和 5 年度における林業に従事する通年雇用者は 2,820 人で、平成 29 年度時の 2,364 人と比べると増加しており、従事者全体の 68%を占める。また、その平均年齢は平成 29 年度から令和 5 年度の間およそ 50 歳で概ね横ばいで推移しているが、60 歳以上の割合は全体の 30%を超え、林業に従事する後継者の確保</p>

	<p>が課題となっており、作業の機械化による安全性や労働条件の向上が若年層の就業定着に大きく影響している。</p> <p>また、北海道内では木質バイオマスの需要拡大や道産建材の利用拡大の取組が展開されている中、国有林においても、森林・林業・木材産業の発展や振興に寄与するため、自然条件や作業システム等に応じた路網整備を推進するとともに、水源の涵養、国土や観光資源の保全といった森林の多面的機能が発揮されるよう、森林整備を進めることが求められている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林資源の適正な管理・循環利用を図りながら森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に森林整備、路網整備を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用、伐採と造林の一貫作業及び下刈りの機械化により、森林整備の省力化及び低コスト化に資する取組を推進することが課題となる。</p> <p>また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待に応え、また、北海道産材の需要に応じた木材の安定供給体制を構築するなど、北海道の林業・木材産業及び地域振興に貢献する取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や林業事業者と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。</p> <p>今後とも道や関係市町村等と情報の共有を図りながら、森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>あぼしりし</small> (網走市)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能、保健・文化的機能など森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。今後も森林の有する多面的機能が持続的に発揮できるよう、現状把握の上、森林の適切な維持管理の継続を要望する。</p> <p><small>つべつちよう</small> (津別町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い当町において、間伐や再造林を主体とした森林整備が実施されたことは評価できる。</p> <p>また、当町において1次産業が基幹産業であること及び網走川上流域であることから、水源涵養機能や土砂流出防止機能は重要であることから、今後も適切な森林・路網整備の実施により、民有林事業者の見本となるような管理をお願いしたい。</p> <p><small>びほろちよう</small> (美幌町)</p>

	<p>本町において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>今後も適切な整備と管理を実施され、町有林や民有林の模範となるような森林経営をお願いします。</p> <p>また、当町では FSC®森林認証を取得しており、国際基準に基づく環境に配慮した森林づくり、木材・木製品の付加価値向上（ブランド化）の取り組みを進めていることから、今後もより一層の情報共有・連携等をお願いしたい。</p> <p><small>こしみずちょう</small> (小清水町)</p> <p>小清水町の森林のうち、国有林の割合が高い本町において、森林整備が確実に実施されていることは十分評価できるものです。</p> <p>特に水源涵養機能は、本町の基幹産業である農業に影響が大きいことから、今後も同事業の継続と適切な森林整備を要望いたします。</p> <p><small>きよさとちょう</small> (清里町)</p> <p>町内の森林のうち、国有林が 68%を占める清里町において、森林環境保全整備事業により森林の持つ多面的機能の維持・促進が図られたことは十分に評価できるものであります。</p> <p>また今後とも森林環境保全整備事業の継続を要望します。</p> <p><small>おおぞらちょう</small> (大空町)</p> <p>大空町における国有林は、本町の南端にある<small>もこと</small>藻琴山麓一帯及び北側にある網走湖の東岸に面しており、藻琴山麓に広がる国有林では、カラマツやトドマツ等人工林からの造材だけでなく、<small>ひがしもこと</small>東藻琴地区や網走市への飲料水供給元としての水源涵養や土砂流出防止、<small>あかんましゅう</small>阿寒摩周国立公園の一部としての自然保護等多面的な機能を発揮しており、地域にとって貴重な資源であります。</p> <p>道内の森林資源が本格的な利用期を迎える中で、藻琴山麓の国有林でも適切な主伐による更新と、多面的な機能を有効に発揮させるために必要な森林環境保全整備事業による森林整備が実施されたことは、林業分野及び周辺の自然環境だけでなく、地域の住民生活や様々な分野の経済及び社会活動にも非常に有意義で、高く評価するとともに、今後も同事業による国有林の適正な森林の継続を強く要望するものであります。</p> <p><small>しゃりちょう</small> (斜里町)</p> <p>国有林において森林環境保全整備事業が実施されたことにより、自然環境保全に加え、森林の有する観点から重要であり、今後も適切な国有林の整備を要望します。また、農地に配慮した防風保安林の管理を継続的に実施していただくようお願いいたします。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <p>・必要性： 本事業は、地域の林業や基幹産業である農業及び漁業の振興に資する観点から、森林の有する水源涵養機能をはじめとする多面的機能の発揮に重要な役割を果たしている。</p> <p>また、本事業地には貴重な野生動植物が多く生息している知床世界自然遺産が近接している。このことから適切な森林整備により、生物多様性や原生的な天然林の保全に寄与していることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が一層発揮され、引き続きその効果が発現されると見込まれる。</p> <p>また、水源涵養や山地保全の機能が発揮され、地域産業の振興や地球温暖化防止に寄与していることから、事業の有効性が認められる。</p>
-------------	--

※平成 27 年度の評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

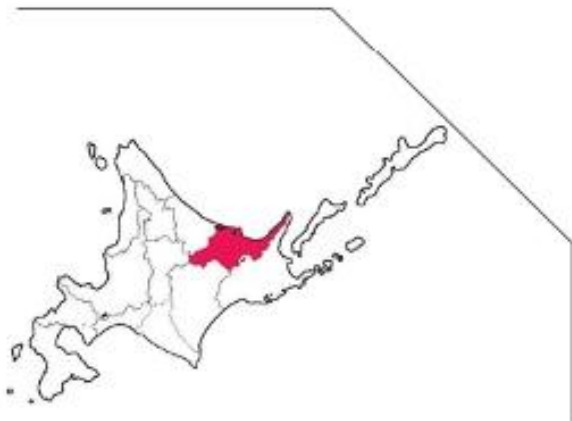
都道府県名：北海道

施行箇所：網走東部森林計画区(網走南部森林管理署)

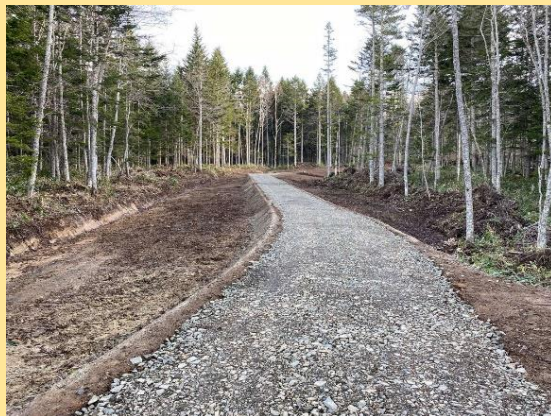
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,878,793	
	流域貯水便益	696,794	
	水質浄化便益	2,901,769	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,502,531	
環境保全便益	炭素固定便益	2,410,313	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	53,144	
	木材利用増進便益	70,670	
	木材生産確保・増進便益	2,779,342	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	26,197	
	森林整備促進便益	591,788	
総 便 益 (B)		19,911,341	
総 費 用 (C)		7,336,836	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,911,341}{7,336,836} = 2.71$		

森林環境保全整備事業 網走東部森林計画区 事業概要図（網走南部森林管理署）



新設工事



下刈



保育間伐



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
森林管理署等	
森林管理署界	